

☆採血について

「採血」は病気の診断や病状の把握を行う検査のため、血液(静脈血)を採取する医療行為です。

資格を有する「保健師・看護師・臨床検査技師」が担当しており、十分な管理のもとに細心の注意を払って実施しています。



●以下に該当する方は、事前に採血スタッフにお申し出ください。

- ・採血時、採血後に気分の悪くなったことのある方
- ・消毒薬(アルコール)や手袋(ラテックスなど)、絆創膏などにアレルギーがある方
- ・血液透析中の方
- ・乳房切除手術を受けられた方
- ・血液をさらさらにする薬(ワーファリン・プラビックスなど)を内服している方
- ・その他、採血に関してご希望や不安のある方

★血管が細いなど採血が困難な方に対しては、採血を中止させていただく場合がありますのでご了承ください。

「針を刺しても採血できない場合」や、「1回の採血で必要量を取れない場合」があります。

その際には再度採血させていただく場合がございますのでご了承ください。



☆採血に伴う合併症について

「採血」は基本的に安全な手技であり、併発症(合併症)を起こすことは極めて少なく、また軽症なものが多いとされていますが、まれに次のような症状が起こることが報告されています。

●止血困難・皮下血腫(青あざ)

不十分な止血操作などが原因です。
針を刺した部分を3本の指で最低5分間、十分圧迫して(もみず)に押さえて)止血してください。



●神経損傷

採血時や採血後に手指へ広がる痛みやしびれなどの神経症状が持続することがあります。約1万~10万回の採血に1回起こるとされており、このような痛みやしびれが続く場合があります。
元々「肩・肘・手首」周囲に疾患(原因疾患)があり、針を刺すことが刺激になって神経症状が現れた場合、原因疾患を治療することにより改善する場合があります。



●迷走神経反応

採血時や採血前後に神経が興奮し、急激に血圧が下がることによって「めまい」「気分不良」「意識消失」などを引き起こすことがあります。しばらく休んでいれば治りますので、心配はありません。ご気分が悪くなられる方、緊張しやすい方など横になって採血をご希望される方はお申し出ください。



●アレルギー

採血時の消毒液や手袋(ラテックス)などでかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出る場合があります。

